

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月10日
12時52分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002030000	情報政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00095	小型システム運用事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	10	情報技術の活用の推進							
予算事業	10020	01	02	01	01	08	01	01	小型システム運用事業（一般管理費）
所属長	相川 勝徳				担当者（内線）小野木 ルリコ（2105）				
根拠法令等	吹田市個人情報保護条例、吹田市情報セキュリティポリシー等								
事業開始年度	平成12年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	市職員（非常勤職員及びアルバイト等を含む） （内部管理システム及びそれらを利用した事務処理）		
目標	効率的なシステムの保守・運用・管理並びに当該システムを利用することによる事務処理の効率化。		
結果	事務処理の効率化・正確化・迅速化を図る。		
事業概要	職員が行政事務を行うために利用している「庁内データ総合共有活用システム」等の円滑な運用及びパソコン、プリンタ等機器の適正な保守・管理を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	シーレイシステム株式会社
		委託先②	日本ビジネスデータプロセッシングセンター
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	事務なびやパソコン等の保守・運用・管理
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	18,889	19,290	21,064	24,081	40,043
人件費職員数(人)	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	13,889	13,430	13,689	13,300	13,507
総事業費(A+B)	32,778	32,720	34,753	37,381	53,550
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	32,778	32,720	34,753	37,381	53,550
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	32,778	32,720	34,753	37,381	53,550
財源計(G+D)	32,778	32,720	34,753	37,381	53,550

所属	情報政策室
事務事業番号	00095

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	システムにおけるアプリケーション及び機器における障害発生により利用不可能時間を発生させない。	時間	目標値	8,365.00	8,365.00	8,365.00
			実績値	8,305.33	8,297.35	
			達成度(%)	99.30	99.20	
目標値の積算方法	本庁舎電気設備点検による停電やシステムのバックアップによる利用不可能時間を除き、利用可能であるべき時間を算出。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.94	4.51	
			一般財源(千円)	3.94	4.51	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 効率的なシステムの保守・運用・管理並びに当該システムを利用することによる事務処理の効率化を図る。	達成状況 安定的な運用が図られており、事務処理の効率化に寄与している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】平成29年度の事業費の増加はセキュリティ強化対策に係るもので、平成30年度の事業費の増加は主にGISシステム再構築に係るもので、それぞれ必要仕様を精査した上でのものです。</p> <p>【指標数値の評価】本事業は、システム全般の保守・運用が主要な事業であり、市の内部事務に係るシステムの安定した運用を重要視したもので、事業成果は適正と考えます。</p> <p>【今後の方向性】新たなシステム導入及び現状システムの根本的な見直しやそれに伴う機器構成・運用方法のあり方等について検討を重ねていき、システム更新時を機会にそれらの最適化を行うことで、コスト削減の可能性のある部分もありますが、投資が必要なものもあって考えています。</p>

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	小型システム運用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	95				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	情報政策室	事務事業番号	95
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

今後も新たなシステム導入及び現状システムの根本的な見直しやそれに伴う機器構成・運用方法のあり方等について検討を重ねていき、システム更新時を機会にそれらの最適化を行うことで、コスト削減の可能性があると考えています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、システム全般の保守・運用が主要な事業であり、市の内部事務に係るシステムの運用管理であるため、市が責任を持って行うことが適当であると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
10時36分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002030000	情報政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00096	庁内データ総合共有活用システム整備事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	10	情報技術の活用の推進							
予算事業	10021	01	02	01	01	08	01	02	庁内データ総合共有活用システム整備事業（一般管理費）
所属長	相川 勝徳			担当者（内線）小野木 ルリコ（2105）					
根拠法令等	吹田市個人情報保護条例・吹田市情報セキュリティポリシー等								
事業開始年度	平成12年	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市職員（非常勤職員及びアルバイト等を含む） （内部管理システム及びそれらを利用した事務処理）		
目標	各所属において当該システムを利用する上で必要なパソコン等機器の適正な配備。		
結果	事務処理の効率化・正確化・迅速化を図る。		
事業概要	職員が行政事務を行うために利用している「庁内データ総合共有活用システム」に係るパソコン・プリンタ等の配置を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	42,139	43,996	38,959	35,465	44,032
人件費職員数(人)	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	5,311	5,135	5,234	5,234	5,165
総事業費(A+B)	47,450	49,131	44,193	40,699	49,197
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	47,450	49,131	44,193	40,699	49,197
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	47,450	49,131	44,193	40,699	49,197
財源計(C+D)	47,450	49,131	44,193	40,699	49,197

所属	情報政策室
事務事業番号	00096

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	内部管理システム用（財務会計システム等を利用できる）パソコン及びプリンタの配置	台	目標値	1,790.00	1,808.00	1,848.00
			実績値	1,790.00	1,828.00	
			達成度(%)	100.00	101.10	
目標値の積算方法	情報政策室所有の内部管理システム用パソコンの保有台数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	27.45	22.26	
			一般財源(千円)	27.45	22.26	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	内部管理システム用（財務会計システム等を利用できる）パソコン及びプリンタの計画的な更新	台	目標値	22.00	87.00	570.00
			実績値	22.00	87.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	導入後一定期間（7年間）を経過した内部管理システム用パソコン及びプリンタの台数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,233.23	467.80	
			一般財源(千円)	2,233.23	467.80	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】パソコン更新の費用については、更新時期に応じて増減します。厳重なセキュリティ確保を仕様としたもので適正と考えています。</p> <p>【指標数値の評価】市の内部管理事務に係るシステムの運用上必要となるパソコン・プリンタ等の機器導入・更新が主な事業内容であり、行政事務を遂行するためには適切なパソコンやプリンタの配置が重要で、事業成果は適正と考えます。</p> <p>【今後の方向性】タブレット端末等新たな機器の整備も必要になると考えています。また、これまでパソコンの更新サイクルを7年としていましたが、5年を経過すると経年による劣化などにより故障しやすくなるため、更新サイクルの見直しを検討中です。</p>

事務事業分析シート

2018/6/715:01

所属名	情報政策室	事業名	庁内データ総合共有活用システム整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	96				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	87	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	情報政策室	事務事業番号	96
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成30年度、31年度においては、パソコンの機器更新に合わせ、セキュリティ対策としてWindows7をWindows10に変更することを予定しています。この更新の事前準備として、各部署で管理していたパソコンを情報政策室管理と変更していく取組みを実施し、効率的かつ費用対効果の高い運用を図っています。
 今後は、タブレット端末等新たな機器の整備も必要になると考えています。また、これまでパソコンの更新サイクルを7年としていましたが、5年を経過すると経年による劣化などにより故障しやすくなるため、更新サイクルの見直しを検討中です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>パソコン、プリンタの更新については、厳重なセキュリティ確保を仕様とした制限付き一般競争入札にて調達を行っており、費用面においても適正な水準にて事業を実施できると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月24日
09時27分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002030000	情報政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00097	情報通信基盤事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	00								
予算事業	10023	01	02	01	01	08	02	01	情報通信基盤事業（一般管理費）
所属長	相川 勝徳				担当者（内線）小野木 ルリコ（2105）				
根拠法令等	吹田市個人情報保護条例、吹田市情報セキュリティポリシー等								
事業開始年度	平成10年度	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	本庁舎及び出先機関を含む全庁ネットワーク 全庁ネットワークに係る情報通信網・ネットワーク機器		
目標	効果的なネットワークの拡充と情報通信網の適切な更新によるネットワークや通信の安定稼働。		
結果	ネットワークを利用する各システムの安定運用を図る。		
事業概要	本庁舎内、本庁と出先機関間との情報通信基盤網（インターネットや総合行政ネットワーク（L・G・W・A・N）への接続含む）の管理運用、並びに関連する機器の保守を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社日立製作所
		委託先②	シーレイシステム株式会社
		委託先③	西日本電信電話株式会社
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	全庁ネットワークに係る運用・保守業務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	96,254	173,330	163,965	158,322	153,363
人件費職員数(人)	4.10	4.10	4.10	4.10	4.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	33,497	32,390	33,014	32,075	31,780
総事業費(A+B)	129,751	205,720	196,979	190,397	185,143
特定財源(C)	784	30,051	1,851	1,851	3,724
国	0	29,267	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	784	784	1,851	1,851	3,724
市負担(D)	128,967	175,669	195,128	188,546	181,419
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	51,802	0	0	0
一般財源	128,967	123,867	195,128	188,546	181,419
財源計(C+D)	129,751	205,720	196,979	190,397	185,143

所属	情報政策室
事務事業番号	00097

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	効果的なネットワークの拡充と情報通信網の適切な更新によるネットワークや通信の安定稼働	時間	目標値	8,730.00	8,730.00	8,730.00
			実績値	8,695.00	8,731.00	
			達成度(%)	99.60	100.00	
目標値の積算方法	本庁舎電気設備点検による停電による利用不可時間を除き、利用可能であるべき時間を算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	23.66	21.81	
			一般財源(千円)	14.25	21.60	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	効果的なネットワークの拡充と情報通信網の適切な更新により、ネットワークを利用する各システムの安定運用を図ることができる。	達成状況	ネットワークの安定的な稼働により、各システムの安定運用が図られている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】平成25年度から仮想化基盤上の運用を開始し、平成28年度には人事給与システムを本基盤上に再構築する等、サーバの統合を進めるとともに、インターネットと行政事務用ネットワーク(LGWAN含む)の切離しを行ったことで、社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に伴うネットワークセキュリティの強化にも対応済みです。国の補助金を最大限活用する等、費用面でも適正であったと考えます。</p> <p>【指標数値の評価】本事業は、職員がパソコンを利用する上で必要となる情報通信基盤網に係る機器の買付借、保守・運用が主要な事業であり、職員の業務遂行だけでなく市民サービスへの影響を前提とした安定した運用を重要視したもので、事業成果は適正と考えます。</p> <p>【今後の方向性】独自にサーバを調達していた各種システムの更新時を本基盤上で構築する機会と捉え、全体最適化を図れるよう検討を重ねていきます。</p>

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	情報通信基盤事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	97				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	87	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

今後も、独自にサーバを調達していた各種システムの更新時を本基盤上で構築する機会と捉え、全体最適化を図れるよう検討を重ねていきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、職員がパソコンを利用する上で必要となる情報通信基盤網に係る機器の賃貸借、保守、運用が主要な事業であり、平成25年度から仮想化基盤上の運用を開始し、平成28年度には人事給与システムを本基盤上に再構築する等、サーバの統合を進めてきました。平成29年度にはインターネットと行政事務用ネットワーク(LGWAN含む)の切離しを行ったことで、社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に伴うネットワークセキュリティの強化にも対応済みです。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月10日
12時53分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002030000	情報政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00098	地域情報化事業			
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり			
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり			
細節	00				
予算事業	10024	01	02	01 01 08 02 02	地域情報化事業（一般管理費）
所属長	相川 勝徳			担当者（内線）	小野木 ルリコ（2105）
根拠法令等	吹田市情報セキュリティポリシー等				
事業開始年度	平成11年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	市民、各種団体、企業など		
目標	ITを効果的に活用することで、迅速・正確かつ個別要求に対応した行政情報の提供を行い、市政の透明化を図る。また、行政、市民や地域、企業が持つ情報の共有化を図る。		
結果	知りたい情報を知りたい時に的確に得ることができる。市民、地域、行政間で情報の交流が生まれ、地域の活性化に繋がる。		
事業概要	吹田市ホームページの作成や公開を行うためのシステム基盤の運用保守を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	シーレイシステム株式会社
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	インターネットデータセンター運用委託
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,518	4,502	4,518	4,533	11,178
人件費職員数(人)	2.90	2.90	2.90	2.90	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	23,693	22,910	23,351	22,687	3,973
総事業費(A+B)	28,211	27,412	27,869	27,220	15,151
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	28,211	27,412	27,869	27,220	15,151
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	28,211	27,412	27,869	27,220	15,151
財源計(C+D)	28,211	27,412	27,869	27,220	15,151

所属	情報政策室
事務事業番号	00098

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	設備の不具合やシステムの障害発生により本市ホームページが閲覧できない時間を発生させない。	時間	目標値	8,760.00	8,760.00	8,760.00
			実績値	8,760.00	8,760.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	24時間×365日	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.13	3.11	
			一般財源(千円)	3.13	3.11	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示るのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 ホームページの安定運用により、迅速・正確かつ個別要求に対応した行政情報の提供を行い市政の透明化を図る。	達成状況 適切な行政情報の提供により、市政の透明化の実現に寄与している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】本事業は、地域に対する情報化を進めるための事業であり、ホームページ公開用設備の運用保守を行っています。当該業務については、大災害時のサービスの継続や、ライフサイクルコスト（導入時だけでなく運用保守に係るものを含めた費用）の低減を図るために、クラウドサービスを利用しています。</p> <p>【指標数値の評価】市民サービスの観点から事業成果は適正と考えます。</p> <p>【今後の方向性】インターネット上でイベント等の申込みができるような電子申請サービスを導入し、市民サービスの向上を図ることや、行政情報のオープン化を進めて市民・地域・行政間での情報の共有化の手法を検討する等の取組を推進していきます。</p>

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	地域情報化事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	98				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	情報政策室	事務事業番号	98
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

現在、「市町村官民データ活用推進計画策定の手引」を参考にし、様々な視点から取り組むべき事業の選定を行うとともに、特定の事業についてはその手法を検討している段階です。
例えば、インターネット上でイベント等の申込みができるような電子申請サービスを導入し、市民サービスの向上を図ることや、行政情報のオープン化を進めて市民・地域・行政間での情報の共有化の手法を検討する等の取組を推進していきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、地域に対する情報化を進めるための事業であり、吹田市ホームページ公開用設備の運用保守を行っています。当該業務については、大災害時のサービスの継続や、ライフサイクルコスト(導入時だけでなく運用保守に係るものを含めた費用)の低減を図るために、クラウドサービスを利用しています。 ホームページが急に閲覧できなくなる等トラブルは発生しておらず、非常に安定した稼働実績を示しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年12月に「官民データ活用推進基本法」(平成28年法律第103号)が施行されました。当該基本法は、官民のデータ利活用のための環境を総合的・効果的な整備を目的としたもので、国・地方公共団体及び事業者の責務を明らかにし、国・地方公共団体(都道府県)に対して官民データ活用の推進に関する計画の策定を求めています。これを受け、平成29年5月に国は「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」を策定されました。平成29年10月に公表されました「市町村官民データ活用推進計画策定の手引」(官民データ活用推進基本計画実行委員会・地方の官民データ活用推進計画に関する委員会)には「地方の特性や実情に合わせて、必要に応じ任意に選定して取り組んでいただける(スモールスタート)ことを期待しています。」と記載されています。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月10日
12時54分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002030000	情報政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00099	情報化推進体制整備事業			
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり			
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり			
細節	00				
予算事業	10025	01	02	01 01 08 03 01	情報化推進体制整備事業（一般管理費）
所属長	相川 勝徳		担当者（内線）小野木 ルリコ（2105）		
根拠法令等	吹田市情報化推進本部等の設置に関する規程等				
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	CIO及び情報化推進に係る組織、職員		
目標	ITガバナンスの強化		
結果	戦略的な情報化を推進し、IT投資の効果を最大化する。		
事業概要	吹田市では、市全体の施策や情報化の状況を把握した上での情報政策の方向性を検討し、施策や事業を決定する組織として「PMO」を設置している。このPMOの委員長であるCIO（最高情報責任者）を補佐し、また、市全体のシステム企画・調達・評価等を適正に行うために、CIO補佐業務を委託し、情報政策室と共にITガバナンスの強化に取り組んでいる。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	関電システムソリューションズ株式会社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	CIO補佐業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	8,811	8,776	11,880	9,838	12,635
人件費職員数(人)	1.20	1.20	1.20	1.20	4.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	9,804	9,480	9,663	9,388	35,753
総事業費(A+B)	18,615	18,256	21,543	19,226	48,388
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	18,615	18,256	21,543	19,226	48,388
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,615	18,256	21,543	19,226	48,388
財源計(C+D)	18,615	18,256	21,543	19,226	48,388

所属	情報政策室
事務事業番号	00099

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	ITガバナンスの強化を図る。	目標	第3期情報化推進計画に沿って、CIOを中心とした戦略的な情報化推進を図る。
成果内容	戦略的に情報化を進めることができ、IT投資における効果を最大化する。	達成状況	ITガバナンスの強化や第3期情報化推進計画に沿った、戦略的な情報化の推進が着実に進んでいる。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】当該事業は、本市のITガバナンスの強化という目標を達成するために、「戦略的な情報化」と「IT投資効果の最大化」が達成できるよう体制整備に当たり重要な位置を占めており、平成29年度はシステム導入に当たっての判断基準の改善を実施しています。</p> <p>【今後の方向性】平成30年度には、第4期情報化推進計画(平成31年度からの5年計画)の策定を予定しており、これまでのIT施策の成果についてのPDCAサイクルを行うだけでなく、市民ニーズや行政運営の最適化へのIT活用も含め新たな施策の検討を進めていきます。</p>		

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	情報化推進体制整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	99				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	情報政策室	事務事業番号	99
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成30年度には、第4期情報化推進計画(平成31年度からの5年計画)の策定を予定しており、これまでのIT施策の成果についてのPDCAサイクルを行うだけでなく、市民ニーズや行政運営の最適化へのIT活用も含め新たな施策の検討を進めていきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市では、市全体の施策や情報化の状況を把握した上での情報政策の方向性を検討し、施策や事業を決定する組織として「PMO」を設置しています。このPMOの委員長であるCIO(最高情報責任者)を補佐し、また、市全体のシステム企画・調達・評価等を適正に行うために、CIO補佐業務を委託し、情報政策室と共にITガバナンスの強化に取り組んでいます。</p> <p>当該事業は、本市のITガバナンスの強化という目標を達成するために、「戦略的な情報化」と「IT投資効果の最大化」が達成できるよう体制整備に当たり重要な位置を占めており、平成29年度は各室課より収集・審査・決定するシステム化計画書における効果測定の見直しや判定基準の改善を実施しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

「デジタル・ガバメント推進方針」(平成29年5月30日 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進戦略会議決定)には「電子行政を推進する目的は、行政のIT化による国民利便性の向上及び行政運営の効率化の実現」であり、「本方針は、高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(平成12年法律第144号)及び官民データ活用推進基本法(平成28年法律第103号)並びにこれらに基づく「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」(平成29年5月30日閣議決定)の下、国民や事業者が行政サービスの生み出す価値を享受できるよう、サービスのあり方に焦点を当て、デジタル社会に向けた電子行政の目指す方向性を示すものである。」と記載されています。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
10時42分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002030000	情報政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00100	共通基盤システム事業				
章	08	基本計画推進のために				
節	04	計画的な行財政運営の推進				
細節	00					
予算事業	11351	01	02	01	01 08 04 01	共通基盤システム事業（一般管理費）
所属長	相川 勝徳		担当者（内線）小野木 ルリコ（2105）			
根拠法令等	住民基本台帳法、税法、吹田市個人情報保護条例、吹田市情報セキュリティポリシー等					
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他	
対象	基幹系システム（住民情報を取り扱うシステム）を利用する職員等（基幹系システムに係る事務処理）	
目標	市民課等関係各課における事務処理が適切に行えるように基幹系システムを運用すること。	
結果	事務処理の効率化・正確化・迅速化を図る。	
事業概要	基幹系システムにおいて、共通機能等を管理する共通基盤システムを運用し、また、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の対応を行う。	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先① 日本電気株式会社
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容 新基幹系システム（共通基盤システム）運用	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①
交付先②		
交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	406,688	393,507	307,745	300,926	333,615
人件費職員数(人)	2.15	2.15	3.35	3.35	3.35
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	17,566	16,985	26,975	26,975	26,616
総事業費(A+B)	424,254	410,492	334,720	327,901	360,231
特定財源(C)	19,671	22,825	30,119	27,194	38,484
国	0	3,154	2,925	0	1,243
府	0	0	0	0	0
その他	19,671	19,671	27,194	27,194	37,241
市負担(D)	404,583	387,667	304,601	300,707	321,747
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	404,583	387,667	304,601	300,707	321,747
財源計(C+D)	424,254	410,492	334,720	327,901	360,231

所属	情報政策室
事務事業番号	00100

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	完了工程数	工程	目標値	8.00	0.00	0.00
			実績値	10.00	0.00	
			達成度(%)	125.00	0.00	
目標値の積算方法	平成27年度31工程、平成28年度10工程が完了し、当初指標(41工程)は達成されている。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	41,049.20	0.00	
			一般財源(千円)	38,766.70	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	共通基盤システムの故障や大規模なネットワーク障害等の発生に起因するシステム利用不可能時間を発生させない。	時間	目標値	2,160.00	8,760.00	8,760.00
			実績値	2,159.00	8,757.25	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	共通基盤システムの稼働時間。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	190.13	37.44	
			一般財源(千円)	179.56	34.34	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	共通基盤上での稼働開始システム数	システム	目標値	4.00	0.00	0.00
			実績値	4.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	平成27年度15システム、平成28年度4システム稼働済みであり、当初指標(19システム)は達成されている。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	102,623.00	0.00	
			一般財源(千円)	96,916.75	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】本事業は、住民基本台帳法や税法等に基づく事業など市民サービスの根幹をなす基幹システムの共通基盤システムの保守・運用費用及びそれに必要なパソコン・プリンタ等の機器導入・更新等に係る事業であり、平成29年1月には旧システムを停止し、新システム(共通基盤システム)での本格運用に移行し、平成30年度は安定した事業遂行ができています。</p> <p>【指標数値の評価】職員の業務遂行だけでなく、市民サービスへの影響を前提とした安定した運用を重要視したもので、事業成果は適正と考えます。</p> <p>【今後の方向性】関係室課や開発事業者と協力しながら、安全かつ安定した運用を継続していきます。</p>

事務事業分析シート

2018/8/1614:59

所属名	情報政策室	事業名	共通基盤システム事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	100				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	情報政策室	事務事業番号	100
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年1月に旧システムを停止し、新システム(共通基盤システム)での本格運用に移行しました。今後も関係室課や開発事業者と協力しながら、安全かつ安定した運用を継続していきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、住民基本台帳法や税法等に基づく事業など市民サービスの根幹をなす基幹系システムの共通基盤システムの保守・運用費用及びそれに必要なパソコン・プリンタ等の機器導入・更新等に係る事業です。社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)への対応については、特に国の動向を注視する必要があるとあり、通知・ガイドライン等の確認を怠らないよう対応を進める必要があると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(平成25年5月31日法律第27号 最終改正平成29年6月2日法律第52号)及びそれに付随する各種法律、ガイドライン等に、マイナンバーの取扱いに関して行政がすべき事項が明記されています。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月24日
09時33分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002030000	情報政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01398	空調機管理事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11594	01	02	01	01	08	05	01	空調機管理事業（一般管理費）
所属長	相川 勝徳				担当者（内線）小野木 ルリコ（2105）				
根拠法令等	吹田市個人情報保護条例・吹田市情報セキュリティポリシー等								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	情報政策室を利用する市職員（非常勤及びアルバイトを含む）			
目標	空調機な正常な運転により、本庁舎における各サーバ室の環境整備。			
結果	本庁舎9階及び8階の環境が整い、機器が正常に稼働する。			
事業概要	本庁舎9階及び8階の各空調の維持保守及び更新を行う。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社日立システムズ	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	空調機の維持保守及び更新	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,036	3,180	261	0	210
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	0	795
総事業費(A+B)	5,853	3,970	1,067	0	1,005
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,853	3,970	1,067	0	1,005
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,853	3,970	1,067	0	1,005
財源計(C+D)	5,853	3,970	1,067	0	1,005

所属	情報政策室
事務事業番号	01398

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保守対象空調機	台	目標値	15.00	15.00	15.00
			実績値	15.00	15.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	保守対象空調機台数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	264.67	0.00	
			一般財源(千円)	264.67	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	更新対象空調機	台	目標値	6.00	0.00	0.00
			実績値	6.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	更新対象空調機台数(更新スケジュール及び故障機器)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	661.67	0.00	
			一般財源(千円)	661.67	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】本業務は本庁舎9階及び8階の各空調機の管理業務となるため、市が責任を持って管理運用することが適当であり、平成28年度は機器更新を実施しましたが、平成29年度は保守点検及び機器更新は実施しておらず、費用はかかっていません。</p> <p>【指標数値の評価】平成29年度は保守点検を実施していませんので事業成果は「0」となります。</p> <p>【今後の方向性】環境を整えるための定期点検及び更新スケジュールに基づく更新を実施予定で、平成30年度は保守点検予定です。</p>

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	空調機管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1398				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特別市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	80	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	情報政策室	事務事業番号	1398
-----	-------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

これからも環境を整えるため、定期点検だけでなく、職員による日々の見回りも継続実施していくと、計画的な機器更新を実施していきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本業務は空調機の管理業務であり、平成28年度は機器更新を実施しましたが、平成29年度は保守点検及び機器更新は実施しておらず、費用はかかっていません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--